



前川田井介句集  
猫に餌第2版



前川 田井介





# 目次

まえがき	1
現在のバチカンの情報暴露制限について	2
俳句	
俳句	5
平和のために	
キリスト教は日本に大復讐をしている	21



## まえがき

本句集を上梓するにあたって予めことわっておきたいことがある。これは「句集」であるので、基本的に、五七五の形式で成り立つ句を収録している。「俳句」として一つの章に全てを収めているが、中には季語を含まない無季のものもある。全て一句につき一つの季語のオーソドックスな俳句にしたかったのだが、収録したかったものには、無季のものも多く、個数は少ないので、一つの章に纏めた。厳密に分類するとそれらのものは、無季俳句、川柳、あるいはただの五七五ということになるが、ここでは線引きは曖昧にした。果たしてこれら全てのものが、俳句として分類されるかと言うと甚だ疑問であるが、ご容赦いただきたい。約5000句の中から厳選した句であるので、鑑賞には耐えうるものであろうと信じている。

## 現在のバチカンの情報暴露制限について

教皇「偽りの情報拡散は罪」、ロイター

<https://jp.reuters.com/article/romepope-idJPKBN13X0AG>

何年だったが忘れてたが、12月19日にフランシスコ教皇が、カトリック教会のスキャンダルをインターネットに流すことは一部許可しているとネットに出ていたので、検索エンジンで探し回ったが、検索に引っかからなかった。あの記事はどこにあるのだろう。

また、情報暴露はどこまで許可されているのだろう。気になる。今の教皇は開放的で進歩的だが、後はどうなるかわからない。もっと開放的で進歩的になるかも知れないし、あるいはまた、閉鎖的で保守的になるかも知れない。

「Spotlight」という映画で、カトリック教会のスキャンダルを大々的に公開しているが、実はプロテスタントとカトリックが共謀していて、情報をリークしている。教会は、イエス・キリストの、「人々を恐れてはならない。隠されているもので明らかにされないものはないからである」という言葉をもとにしているが、現在、教会のスキャンダルは、「性虐待」とされて、隠蔽されている。この文章は、教会の黙示の指示で書いています。

俳句





## 俳句

紙漉や水の綺麗な母の里

ボンボーズ木魚ビートにノリノリだ

気を付けろ猫が秋刀魚を狙ってる

蓑虫や浮世離れてぶらぶらり

縁切れた人より便り暑中かな

軽梟の子の列を外れるやんちゃをり

西瓜食ふ猫西瓜食ふ猫が食ふ

啓蟄の風に吹かれて一人旅

人知れず耽る思案や福寿草

はんざきの痛み知る者吾一人

怒りとは女のまたに下心

アイリスや考の教えは花となり

煩悩の百八センチ胴回り

桔梗屋よお主もかなり悪よのう

老の字を嫌がる母の敬老日

コスモスやサンドイッチとスニーカー

コスモスの揺れているのは触れたから

猫の後付いて行つては日向ぼこ

茶摘唄お腰の痛いおばあちゃん

幸せを掴むその手で胡瓜揉み

言の葉の軽きに泣きて落し文

公園にタマタマ咲いたいぬふぐり

柿盗ればベルが鳴るなりアルソック

蝌蚪出づる田を誰ぞ知るや風の街

ネクタイに首締められる新社員

先生は猫が好きだね初句会

蛙にも下戸と言われて酒飲まず

緋目高や鉢にありても澁刺と

蟪蛄に神の怒りの現はるる

片恋や首を傾げるシマエナガ

情のある人が好きです大根干す

青ぬたやばあちゃん古銭集めてた

眠剤と時計の針や冬寒し

美しく歳をとりたし銀芒

今生は苦しみにや合歓の花

便箋に涙したため冬来る

暑いわね近寄らないで恋の距離

春寒しケツは元々割れとるわ

酒蒸しにせんかと怒る鬼浅蜷

冬銀河渡ればそこに夢のあり

めでたさのみつつばかりの雑煮膳

猫に句を詠んで聞かせる春うらら

人待ちて哀しからずやかすみ草

採血のナース優しき春心地

春雨や禪取って大いばり

野良猫の息子に母は鯨一尾

猫に餌今日も夕日が落ちていく

夫喰みて孤独極むる女蠅螂

霜降や賽銭ほどの金はあり

冬銀河自由に描く星座かな

騙すなと母が釘刺す四月馬鹿

冬將軍彼も炬燵に陣取れり

葉牡丹の葉は幾重にも幾重にも

ヒドロキシプロピルメチルセルロース

雪達磨美女の隣で溶けにけり

近所にて火事の老婆の杓として

片恋や名残の都忘れ咲く

さくら花好きで始まる花占い

息潜め寄れば散る蝌蚪残る蝌蚪

時流れ友の流れて走馬灯

扇風機必ず横に首振れり

冬薔薇棘も愛してしまへれば

露の臺苦味走ったいい男

人間は一本の管心太

難解な方程式や時計草

水無月やどこを切っても金太郎

デイジーが咲いているから今日休み

冬茜遠き神武の昔より

名前なき猫の喜ぶ漱石忌

鶯が心知りしか一鳴きす

日を以てど枯れぬ悲しさ水中花

紫陽花を愛でる人こそ美しき

おおそうかそんな季節か猫じゃらし

夏の宵眠りを誘う茉莉花茶

蝻螂の斧と雖も指を切り

猫に子が出来てニャーニャー五重奏

燕の子季節と命巡りけり

母がまた今年も来たと梅漬ける



巢立ち前子雀空を見据えけり

好景気八百屋の蕪を買い占める

南天が髪飾り也雪達磨

八朔をふたつに割りて与作かな

冬ざる誰訪れぬ神社かな

きんつばの一つ余るや冬の朝

秋闌ける訳知り顔の占い師

おほなるに吾関せずと蝸蚪のあり

四月馬鹿この句は嘘を詠んでいる

四月馬鹿インディアンさえ嘘をつく

冬山にそうなんですよ救助犬

幸せの遠く近くと揺れる爛

硯洗ふ亡父に届く文芸誌

薄衣着て人見知りする女性

サボテンは棘のありても平和主義

優しさを求め彷徨う夜光虫

冬の夜遅くぶぶ漬けどうどすか

鎌鼬吾が心臓を裂くがよい

寂寥の夜の友達青葉木菟

靴箱に入れる恋文青葡萄

失いし夢美しく夏の海

病み疲れ今鳩の巣に帰りたし

失くされた時を求めて月朧

一輪の梅に命を傾ける

鈴蘭の花が咲いたよ神父さん

石楠花をせつくす花と読みにけり

恥じらいつ林檎にキスをゆりえちゃん

土用の日うの付くものを出しにけり

恋猫のふられふられてまた一人

ホワイトデー円周率を誦んずる

傷つきし心に眠り朧月

花林檎初めて祝う誕生日

冬の夜の帳に溶ける烏かな

鬼母の猛り狂うや春の闇

公園にもう暑いねと尉鷄

秋興や猫には餌をあげませう

台風や七号去ってまた八号

ヤー・チャイカ早く地上に帰りたい

秋風や猫えんじ色エンジニア

非正則恒等置換阿弥陀籤

禍は言葉にならず曼珠沙華

ばあちゃんの墓も知らずや秋彼岸

メビウスの輪でおもてなしうらない師

焼詣の値段にたまげ神棚に

鋤焼や考（ちち）の肉食えの追憶

痛切に虚しき冬の一人酒

チャイム鳴り暖炉の上に紅茶置く

花冷えや母の背中の丸き事

花薺ペンペン草と呼ばないで

春休み食う寝る遊ぶ女学生

名残雪別れにキスを一度だけ

狼が来たぞ元気に四月馬鹿

蛙釣り大人になって訪う小川

青麦畑風の波紋を映しけり

河豚の毒当たりて瀕死夢三途

霜月の虫喰寺の跡地かな

キセキレイ猫におはようございます

チューリップ戦の過ぎて花畑

平和のために





## キリスト教は日本に大復讐をしている

キリスト教は日本人に大復讐をやっている。禁教令と殉教と戦争（アメリカはプロテスタント）の復讐だ。日本を征服して解放するためにやっている。犠牲者がかわいそう。集団ストーカーの一件もそれ。

知らないうちにマインドコントロールされるので、犠牲者は気づかない。犯罪の構造は、加害者をマインドコントロールによって作り、被害者を狙うと言ったことになっている。植松聖、加藤智大、林真須美とかの大量殺人もそれ。日本で大量に起こった殺人事件もそれ。最後に加害者を始末する。自分たちの手を汚したくないからだ。

大量にやられている。マインドコントロールによる精神障害者も大量に出ている。

日本は心理的な大人体実験のターゲットになっている。

キリスト教は創価学会、世界救世教、他諸教を手下につけて大規模にマインドコントロールをしている。キリスト教が作った人工宗教、オウム真理教も麻原らが儲けて大犠牲が出た。

実は自民党はキリスト教で、日本はキリスト教の支配下にある。影で裏金が回っている。警察もグルになって、国がやっている。

キリスト教のダークサイドであるイルミナティとフリーメイソンがメチャクチャやっている。

いま日本はメチャクチャだ。

日本の中絶率が高いのも、自殺率が高いのもイルミナティ・フリーメイソンが原因だ。

キリスト教、プロテスタント、カトリック教会はヨハネの黙示録を見ると復讐は倍にして返してやれだが、倍どころの騒ぎじゃない。犠牲者多発。1000倍くらいになって返ってくる。日本人は狙われている。イルミナティ、フリーメイソンはアメリカが日本に HAARP という兵器で人工大地震を起こしたりしている。

2100年の聖年に日本は解放だ。

一旦悪の組織、イルミナティ、フリーメイソンに足を突っ込んだら抜けられません。

キリスト教のマインドコントロールは考えや記憶や映像をそのまま書き込むことができる。

マインドコントロールによって進むことをマーチと呼んでいる。

日本はキリスト教支配で、いま大復讐中なので、キリスト教に入りたい日本人が大量にいるらしい。しかし、キリスト教に入るにはなかなか難しく、69の洗礼という段階を経て70の堅信で確固たる信者になるが、不適格だとアナテマを食らう。キリスト教に入ったなら色々できるらしいが私は入らない。

禁教令と殉教の復讐はクリシタンを迫害した、例えば豊臣、徳川、松平、井上等の子孫がやられる。先祖にこれらの姓があると注意。キリスト教は知らないうちに姓を変えているので注意。例えば、豊臣は福富、徳川は前川、松平は松本、井上は井川と言ったように変えられている。

イルミナティ、フリーメーソンは大量殺人鬼をマインドコントロールによって作ったので、バチカンが死刑反対なので、日本が死刑にするつもりなので、大量殺人鬼を一人だけ大人体実験の信じられない猛罰を30年して、海外逃亡をさせるつもりらしい。ラッキーなやつが一人だけいる。イルミナティ・フリーメーソンはまた、奇形誘発ピルを使っての障害児を作ったので、一人だけ、乙武洋匡を大優遇しているらしい。一人だけとは不公平な。

イルミナティ・フリーメーソンはただ大復讐をするだけでは人間がもったいないため、日本を大実験島にして、大人体実験をしている。バチカンが人体実験を7つの大罪の内の一つにしているが、禁止しているわけではないので、大々的にやっている。性虐待とされているが、人体実験である。

—— Christian Today から引用 ——

「教会の罪を認める」「司教団とともに、祈りを」

カトリック司教協議会会長が呼び掛け

2022年2月25日10時59分

カトリック中央協議会は22日、3月18日の「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を前に、日本カトリック司教協議会会長の菊地功大司教（東京大司教区）による呼び掛けの文書（17日付）を公式サイトに掲載した。菊地大司教は文書で、「無関心や隠蔽

(いんぺい)も含め、教会の罪を認める」とし、「被害を受けられた方々が神のいつくしみの手による癒やしに包まれますように、ともに祈ります」と述べた。

菊地大司教は、児童性虐待を含め、聖職者による性虐待は「日本の教会も例外ではありません」と指摘。「教皇フランシスコは、聖職者によって引き起こされたこの問題に、教会全体が真摯（しんし）に取り組み、その罪を認め、ゆるしを請い、また被害にあった方々の尊厳の回復のために尽くすよう求めておられます」と述べた。また、司教団によるガイドライン制定などの取り組みを挙げ、「日本の教会が、いのちの尊厳を守り抜くための努力を怠らない教会共同体であるように、努めてまいります」と決意を述べた。

その上で、「わたしたち聖職者がこのような罪を繰り返すことのないように、信仰における決意を新たにし、愛のうちに祈り、行動したい」と述べ、「どうぞ、四旬節第2金曜日に、またはその近くの主日に、教皇様の意向に合わせ、司教団とともに、祈りをささげてくださいますようお願いいたします」と呼び掛けた。

「性虐待被害者のための祈りと償いの日」は、教皇フランシスコが各国の司教団に制定を指示したもので、日本では2016年に四旬節第2金曜日とすることが決まった。被害者の痛みや苦しみに寄り添い、祈りと償いのうちに過ごす機会として、翌17年から毎年この日に合わせてミサがささげられるなどしている。

精神障害者（人工・天然統合失調症）は気の毒なので、良いマインドコントロールを大量にして、治療しグループホームを建ててなんとかしたり、家へ戻すこともやっている。天然統合失調症は自然に出来た統合失調症で、人工統合失調症はマインドコントロールによってできたものである。

精神科病院大救いもやってるらしい。大聖年（2000年）が過ぎたので、大規模にやっている。

キリスト教会は闇を抱えると前田万葉枢機卿も言っている。

キリスト教、カトリック教会はメチャクチャやっているけど、教皇フランシスコ、マザー・テレサ、前田万葉枢機卿、キング牧師の本、「すべてのいのちを守るため——教皇フランシスコ訪日講話集」、「愛-マザー・テレサ日本人へのメッセージ」、「烏賊墨の一筋垂れて冬のミサ」、「前田万葉句集」、「前田万葉句集ⅠⅠ雲の峰」、「キング牧師一人種の平等と人間愛を求めて」を手に入れ、そして、神の愛の宣教者会大分、「神の愛の宣教者会別府カトリックの家〒 874-0033 大分県別府市野口元町9-12」に「マザーテレ

サのメダイを送って下さい」と手紙で連絡して、マザーテレサのメダイを貰って下さい。これらを手に入れたら、危険を回避出来ます。知らないうちにやられますが、これらを手に入れたら、ターゲットから外れます。

これで大丈夫ですが、大量殺戮は大雑把にやっているので、本6冊とメダイを持っていても回避できないかも知れません。

海外移住も逃げることのひとつの手です。一旦、インドのマザーハウスにまで逃げていくこともひとつの手です。



---

前川田井介句集 猫に餌 第2版

---

著 前川田井介

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---